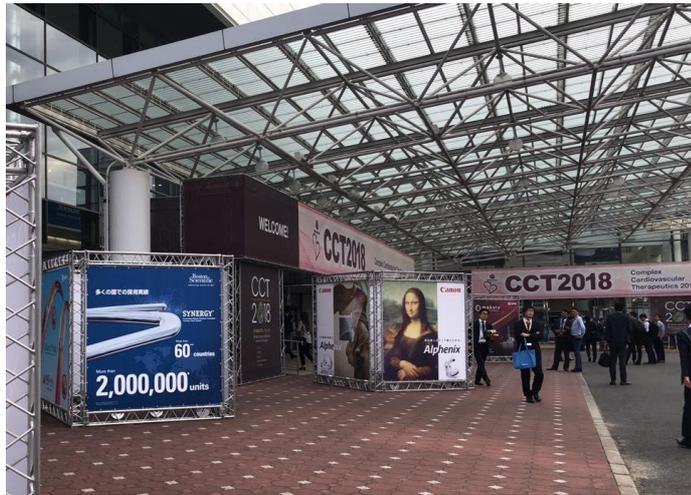


# CCT2018 参加報告

華岡青洲記念心臓血管クリニック 山口隆義

皆様こんにちは、華岡青洲記念心臓血管クリニックの山口です。今年も、CCTに参加してきました。CCTとは complex cardiovascular therapeutics の略で、難易度の高い心血管治療を、ライブデモンストレーションを中心に、その技術や知識を共有しようとする国際的な学術集会で、毎年、神戸で開催されています（2年間、同じ説明をしています）。



今年の CCT は個人的に大変でした。初日の 9 時から「振り返ってステップアップ、冠動脈 CT の基礎の基」に演者として参加後、コメディカルポスター発表の座長、そしてフォトロンさんのランチョンセミナーの演者、午後からは「学ぼう！ICRP publication120 から考える放射線被曝」での冠動脈 CT 領域の解説をして、「コメディカルだから知っておきたい！狭窄率の定量的評価法の基礎と虚血エビデンス」への参加、そして、この日の締めくくりは放射線部門の Digital Poster Session の審査員でした。とても忙しく動き回りましたが、多くの皆様にご参加頂き、その後の南京町での懇親会も楽しい時間となりました。

翌日は、午後から行われたコメディカルライブ「Peripheral」にコメンテーターとして参加しました。京都桂病院からの中継で、SFA の治療が行われました。こちらでは、診療放射線技師がカテテル検査室に常駐していないとの事で、少々コメントし辛い感じも

ありましたが、ミニレクチャー「放射線画像を PPI に活かす!」も担当しましたので、術前 CT 画像の有用性や治療支援画像についてお話しさせて頂きました。

いかがでしょうか？私が関わったプログラムだけでも面白そうだと思いますか？今回初めて参加された施設の方々からは、「特に心臓領域をこれから始める若手に参加させたい」との評価も頂きました。今年も色々考えてプログラムを企画した甲斐がありました。

勿論、他のコメディカルセッションやメディカルセッションも多く、やはりライブで様々な治療を観ることができるのは、CCT ならではです。最近、ストラクチャー系を含めて様々な治療デバイスが出てくるようになっていきますので、最新の情報収集にもぴったりの会だと思います。神戸は、夜も賑やかな街です。1 日中楽しめますよ！



恒例の明石焼と、今回抜群にうまかったとろろそば。(小倉氏と共に)